

2008年1月31日
東京ガス株式会社

2007年度第3四半期決算説明会 主なQ&A

Q1: ガス販売量の見通しについて、家庭用が伸び悩んでいるように見える。1月中旬から気温が下がっておりそれに伴いガス供給量が増えていると思うが、この傾向は見通しに織り込まれているのか？

A1: 1月中旬以降の気温の変化は今回の見通しには織込んでおらず、2-3月の気温は平年ベースで見通しを立てています。中間決算発表時の見通しと比較すると、家庭用・商業用は減少する見通しですが、工業用・卸供給で増量を見込んでおり、全体では前回見通し比 42 百万 m^3 (0.3%)増の 140 億 6 千万 m^3 となる見通しです。

Q2: LNG 価格高騰の背景として、長期契約における価格改定の影響があると聞いたが、今期の収支に反映しているのか？

A2: LNG 価格は原油価格とリンクしており、昨今の原油価格の高騰により LNG 価格が上昇し、原材料費が増加しております。また、当社の LNG 長期契約の一部で現在価格交渉中のものがあり、この影響額は一定の範囲で今期収支見通しにも反映しています。

Q3: 商業用・工業用のお客さまの省エネへの取組みが高まっていると思うが、それによるガス販売への影響はあるか？

A3: 特に、商業用の空調分野では機器の効率化が進んでおり、それによるガス使用量の減少はあると考えています。一方、工業用については、環境性向上のために石油系燃料からクリーンな都市ガスに転換するという需要が旺盛であり、堅調な伸びを見込んでいます。

Q4: 家庭用ガス機器の販売状況について教えてほしい。

A4: ピピッとコンロ・ミストサウナ・エコジョーズ・マイホーム発電等の家庭用ガス機器の販売は好調に推移しており、戦略商品と位置づけている機器についてはいずれも年間販売計画を達成する見通しです。

以上